

日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム

東洋と西洋を結ぶ「21世紀の知（価値）のロシアン・シルクロード」の実現



金沢大学

事業責任者 大谷 吉生（金沢大学 副学長（国際担当））

平成30年2月9日



金沢大学憲章

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の
位置付けをもって改革に取り組む

専門知識と課題探求能力、
さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成

第3期中期目標

教育内容及び教育環境のグローバル化を徹底的に推進し、
"金沢大学ブランド"を確立・定着

本事業

「日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム」



金沢大学のグローバル化を進める上で重要なもの

学長のリーダーシップの下、全学をあげて事業を推進

①事業の位置付けと全学的推進体制 申請の背景

なぜロシアなのか？

歴史的に多くの民族が関わりながら発展

多民族・多様性の高い環境

日本国内で経験することは難しい

金沢大学が目指す人材像を
育成する上で適した環境

金沢大学とロシアとの十分な研究交流実績

H17~28 研究者交流 派遣：192人 受入：105人

最近交流が盛んな分野と相手大学

超低温物理学

カザン連邦大学

本学元教員が副学長

脳神経科学

クズニヤルスク医科大学

本学元研究員が副学長

環境科学

ロシア科学アカデミー極東支部

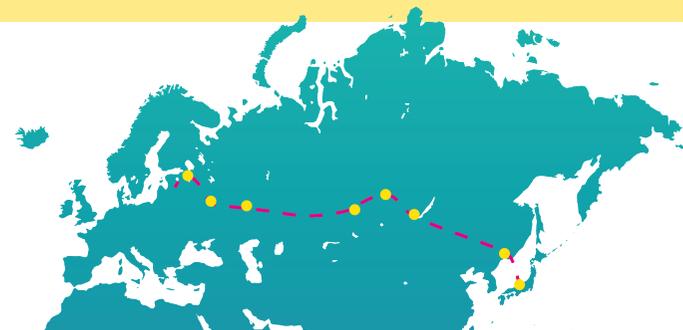
21COEを契機に交流拡大・継続

本学のロシア交流拠点

研究交流実績を学生交流に拡大

将来の日露関係を担う人材育成に貢献

21世紀の知（価値）のロシアン・シルクロードの実現



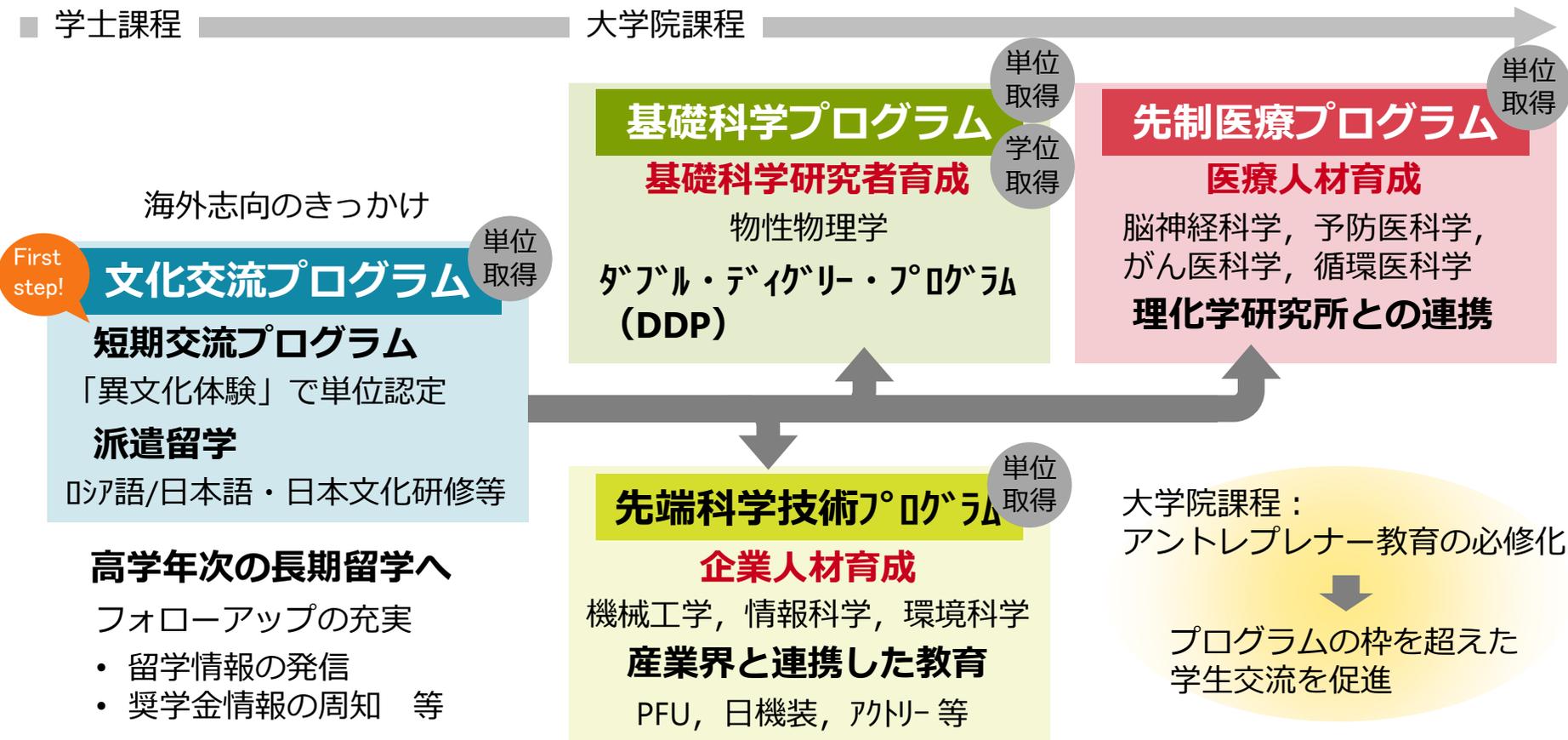
①事業の位置付けと全学的推進体制 人材像とプログラムの概要

養成する人材像

日本とロシアの互いの<特殊性>と<普遍性>から、
各人の専門知識・技術を駆使して新時代の価値を創造し、
それを礎に両国の未来を共に創り上げていくことのできるリーダー

備える能力 異文化受容性 現状認識力 俯瞰的思考力 創造（想像）力 実践力

プログラムの概要



③目標設定の考え方 派遣・受入計画

考え方 **派遣** 全学の派遣目標を達成する上で、新たな派遣先の開拓が必要
受入 キャンパスの多様性を高める上で、ロシアからの受入増は重要

これまでの研究交流実績を基にした双方向の学生交流プログラムを構築

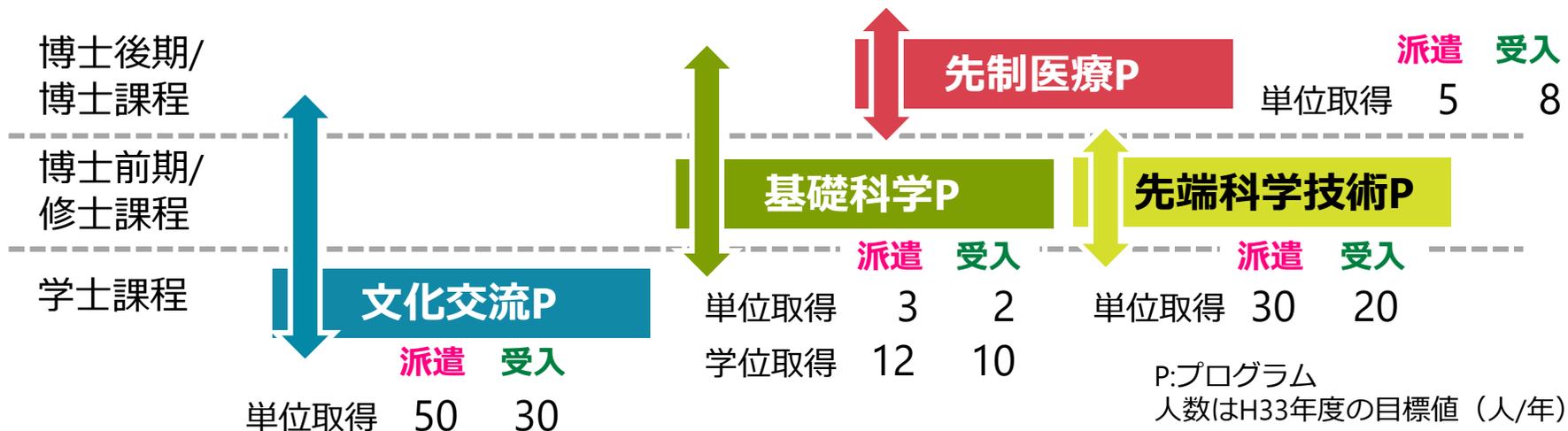
派遣・受入計画

H33年度の目標

派遣 : 100 人/年, **受入** : 70 人/年

5年間 (H29~33) の合計 (目標)

派遣 : 268 人/年, **受入** : 182 人/年



H29 派遣・受入状況 (確定分)

派遣

派遣留学 3人 (カザン連邦大学)
 語学研修 1人 (極東連邦大学)
 文化体験P 10人 (イルクーツク州)

受入

学位取得 2人 (カザン連邦大学, 極東連邦大学)
 交換留学 6人 (カザン連邦大学, クラスノヤルスク医科大学, 極東連邦大学)

9月
 出発

③実現に向けた環境整備 受入及び派遣体制

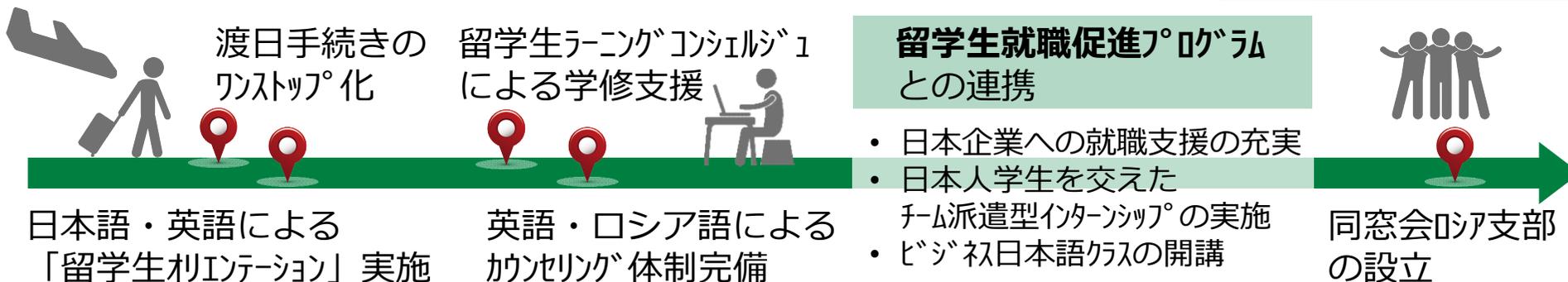


北溟 (200名収容)

方針 既存体制の充実と積極的な活用

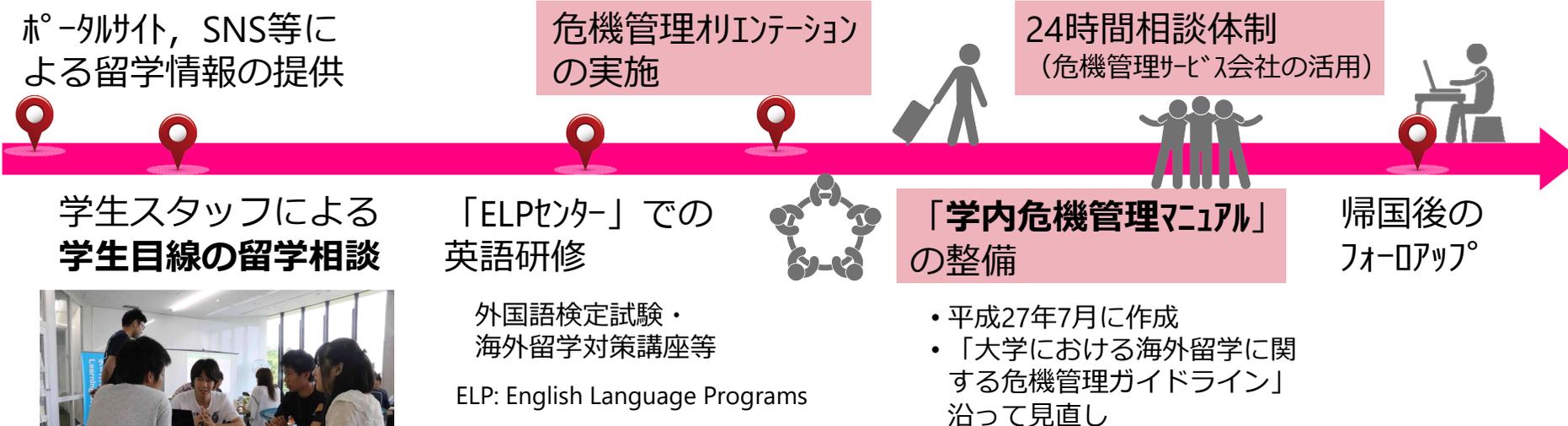
学生・留学生
混住型宿舎の整備

受入



本学独自の奨学金制度の充実

派遣



金沢大学—カザン連邦大学—理化学研究所との三者連携



先制医療プログラム

ゲノム科学の連携を土台に構築



日露医学研究教育センターへと展開

基礎科学プログラム

超低温物理学を土台にDDPを構築



基礎科学（特に物理学）の
三者連携の強みを生かした人材育成

それぞれの分野連携を
統合的に推進し、
複数分野での三者連携を強化

本提案の特徴 その(2)

地域を巻き込んだ取り組み：連携強化

自治体の取り組み

石川県の友好交流地域
イルクーツク州 (H3~)

姉妹都市
(いずれもイルクーツク州)

金沢市：イルクーツク市 (S42~)

七尾市：ブラーツク市 (S45~)

能美市*：シエレホフ市 (S51~)

*本学を修了したロシア人が臨時職員として勤務

石川県とイルクーツク州の交流実績 (抜粋)

H4~ 県職員ロシア語研修生派遣

H8~ 石川県日本語・日本文化研修事業

H10~ 国際交流員の招致 (イルクーツク出身者)

H10~ 高校生交流

石川県国際交流協会等、
自治体関係機関を窓口

地域の協力による「生」の交流

地域間交流の一層の充実

将来的には、カザン連邦大学が所在するタタルスタン共和国と石川県の連携へ



大学間連携を土台とした地域間連携への展開モデル

石川県 豊かな文化・自然が身近にあり、
日本を丸ごと体験できる



市民公開講座の開催

派遣・受入学生による講演会等により、
「生」の情報交換

短期プログラムでの民泊の実施

地域のご家庭での生活体験を通じた
「生きた」文化体験

③将来の発展性

STEP 1

金沢大学で多層的交流プログラムを構築

STEP 2

石川県内の高等教育機関へ展開

UC↑ 大学コンソーシアム石川

会長 金沢大学長

本取組を
交流のプラットフォーム
として紹介

本取組で得られた
ノウハウ・GPを共有

経済団体
12団体

自治体
1県19市町

高等教育機関
20機関

各機関に適した形の
交流プログラムを開発

- 大学間交流の拡充
- 石川県内での交流が活性化

STEP 3

石川～ロシア
大学交流コンソーシアムを介した交流

ロシア大学コンソーシアム

幹事校：カザン連邦大学

- カザン連邦大学
- クラスノヤルスク医科大学
- ロシア科学アカデミー極東支部
- 極東連邦大学
- 国立イルクーツク大学
- 国立アルタイ大学
- サンクトペテルブルク医科大学
- タタルスタンがんセンター

本事業参画機関間の連携強化を促進

石川～ロシア大学交流コンソーシアム

大学コンソーシアム 石川 ~~×~~ ロシア
大学コンソーシアム

コンソーシアム間の交流に展開

大学間交流から地域間交流へ

石川～ロシア大学コンソーシアムを通じた学生交流の拡大

石川県内のすべての高等教育機関がロシアとの交流を推進

交流プログラムを土台とした新たな産業創出

- ・実学分野の交流プログラムの充実
- ・アントレプレナー教育を必修化

日露大学協会との連携

8. 両国間の多層での人的交流の飛躍的拡大

新たな価値の創造

1. 医療水準を高め, ロシア国民の健康寿命の伸長に役立つ協力
3. 日露中小企業の交流と協力の抜本的拡大



東洋と西洋を結ぶ
21世紀の知「価値」の
ロシアン・シルクロードの実現



先制医療プログラムを土台とした日露医学研究教育センターの開設

日露の学生が共に学び, 先端医療技術を修得

地域を巻き込んだ取り組みによる両国の友好及び相互理解の進展

- ・市民講座等の開催
- ・民泊の実施

継続的な日露両国の医療人材育成に貢献

1. 医療水準を高め, ロシア国民の健康寿命の伸長に役立つ協力

地域全体の交流として展開

8. 両国間の多層での人的交流の飛躍的拡大